

7月 新着図書

その復讐、お預かりします

著者名:原田 ひ香
出版者:双葉社



愛した男に騙され仕事を失った美菜代は、凄腕の復讐屋がいるという噂を聞きつけ、その男、成海慶介の事務所を訪ねる。しかし提示された依頼料は高額で、とても払えない。追い返されても諦めきれない美菜代は成海のもとで働かせて欲しいと頼み込み、押しかけ秘書となるが―。どうしようもない人生の不条理に直面する人々の悲喜交々を描いた、ユーモアと優しさ溢れる復讐劇が新装版となって登場！

天使も踏むを畏れるところ 上

著者名:松家 仁之
出版者:新潮社



お濠を越えた空襲の炎は、明治宮殿を焼き尽くした。敗戦から15年、初の民間出身の美智子妃に沸いた皇太子の結婚を経て、皇居「新宮殿」造営計画がようやく本格的に動きはじめる。「チーフアーキテクト」を委嘱されたのは、戦前、フランク・ロイド・ライトのもとで働き、日本の伝統建築と欧米のモダニズム建築、双方に精通する建築家・村井俊輔。「象徴天皇」、そして民主国家となった新しい日本にふさわしい、ひらかれた宮殿のかたちがあるはずだ―。

天使も踏むを畏れるところ 下

著者名:松家 仁之
出版者:新潮社



浅間山のふもとにある「夏の家」で、村井俊輔は所員とともに「新宮殿」の設計を進めてゆく。村井の恋人、園芸家の藤沢衣子は、皇太子御成婚の立役者である東宮参与・小山内に依頼され、美智子妃の庭園の御用掛、相談役をつとめるようになる。緑青がうつつく銅板葺きの緩やかな屋根、玄関ホール天井のやわらかなダウライト、おびただしい数の障子が醸し出す静謐さ、人の目に触れ、手に触れる、建具や手すりなど木工造作のディテール…。村井が描く「新宮殿」の姿が次第に明らかになるにつれ、天皇の侍従・西尾が案じていたとおり、宮内庁の牧野が分を超えた采配を振り始める。

僕には鳥の言葉がわかる

著者名:鈴木 俊貴
出版者:小学館



古代ギリシャ時代から現代まで、言葉を持つのは人間だけだと決めつけられてきた。しかし、シジウカラたちは、それが間違いであることを教えてくれた。人間には人間の言葉があるように、鳥には鳥の言葉がある。シジウカラは言葉を使って文を作る。世界を驚かせた研究者が綴る、大発見に至るまでの鳥愛あふれる研究の日々。

いつもひらめいている人の頭の中

著者名:島 青志
出版者:幻冬舎



「ひらめく力」は、誰もが平等に持っている基本的な能力だ。しかし残念ながら、その力に自ら限界を設け、自身の創造性のなさやアイデア不足を嘆く人は多い。そのミッターは、ちょっとした意識の転換で簡単に外せて、その結果、誰でも存分にひらめきながら創造力を発揮できるようになる。鍵となるのは、あなたの感情と美意識だ。本書ではひらめきのメカニズムを4つのプロセスに分解し、今すぐ実践できるメソッドを、最新の脳科学研究や具体的事例とともに詳述。思考の枠を打ち破る、革新的なひらめき大全。

老人初心者のたくらみ

著者名:阿川 佐和子
出版者:中央公論新社



思いがけない蟄居生活、母亡き後の実家の片づけ、忍び寄る老化現象…なんのこれしき！禍福は糾える縄のごとし。暮らしの中に「いいこと」を見つければ、「今日も楽しかったなあ」と眠りにつくための秘訣。人生のコツと滋養がたっぷりつまった必笑エッセイ、第三弾。『ないものねだるな』改題。

ぼくたちはChatGPTをどう使うか

著者名:東大カルペ・ディエム
出版者:三笠書房



読書感想文の高速フィードバック、数学の問題のヒントを少しずつもらう、英文を作ってもらってシャドーイング。「考える力」と「自分で学ぶ力」が身につく！大人も知っておきたいChatGPT勉強法。

それいけ！平安部

著者名:宮島未奈
出版者:小学館



ピュア度100%！ハートフル青春小説 いみじ！新入生、部活つくったってよ県立菅原高校の入学式当日、同じクラスになった平尾安以加から「平安時代に興味ない？」と牧原葉は声をかけられた。「平安部を作りたい」という安以加の熱意に入部を決めるが、新部を創設するには5人の部員が必要だった。あと3人（泣）！！クラスメートから上級生まで声をかけ、部員集めに奔走するが―

宙ごはん

著者名:町田 そのこ
出版者:小学館



宙は小学校に上がるのを機に、育ての母・風海(ママ)のもとを離れ、産みの母・花野(お母さん)と暮らし始める。家事をせず、イラストレーターの仕事を最優先にする花野との生活を支えてくれたのは、商店街のビストロで働く佐伯と家政婦の田本だった。花野への不満を募らせて家を飛び出した宙に、佐伯はパンケーキを作ってくれた。その日から、宙は佐伯から料理を教わり、レシピをノートに書き続けていく。2023年本屋大賞にノミネートされた話題作。文庫版には、書き下ろしを含む2本の掌編を収録する。

動物たちの江戸時代

著者名:井奥 成彦
出版者:慶應義塾大学出版会

江戸時代、人と動物たちはどのような関係であったのか？西洋文化が流入する以前の日本人と動物たちとのかわわりを、古文書読みに長けた動物好きの専門家が描く。

7月 新着図書

ざっくりわかる8コマ三国志

著者名:渡邊義浩
出版者:朝日新聞出版

いまから約1800年前、中国統一をめざし天下を三分して戦った熱い漢&女たちがいた。老若男女の心をたぎらせてきた歴史ロマン『三国志演義』。しかし、全部読むには長いし、登場人物も多いし。そんな悩みは、もう無用！特濃の8コママンガと極上の解説で、『三国志演義』のエッセンスがざっくりわかります。

アウト老のすすめ

著者名:みうら じゅん
出版者:文藝春秋

アウト老とははみ出し老人のことなり。人生を面白くするのも、つまらなくするのも、自分次第。息苦しい社会に風穴を開ける珠玉のエッセイ95本。

ぼく、アンパンマンです！

著者名:やなせたかし
出版者:フレーベル館

ある日ジャムおじさんが見つけたおしゃぶりは、アンパンマンがあかちゃんの頃に使っていたもの。同じごろ、ばいきんまんも自分のおしゃぶりを見つけて悔しい気持ちを思い出し、今日こそアンパンマンを倒すため、最強のバイキンUFOを作ろうと決意します…！

きえた アンパンマンごう

著者名:やなせたかし
出版者:フレーベル館



パンをはいたつするためもりのなかをはしていたアンパンマンごう。ところが、ばいきんまんのアリンコキッドのたたかいにまきこれまてしまいました。そこで、アリンコじゅうからでたこうせんがアンパンマンごうにあたってしまい、なにやらおかしいことに…

アンパンマンのひみつ

著者名:やなせたかし
出版者:フレーベル館



こまっているひとをたすけたり、おなかをすかせたひとにかおをあげたりと、アンパンマンはきょうもおおいそがし。そんなつよくてやさしいアンパンマンは、クリームパンダのあこがれです。でも、アンパンマンはどうしてそんなにつよいのでしょうか？